

陸上自衛隊第12音楽隊コンサート2017 in 佐野



自衛隊の各音楽隊は、儀式・式典などでの演奏を行っているほか、演奏を通じた自衛隊の広報活動などを行っています。

7月1日・2日、群馬県北群馬郡榛東村の相馬原駐屯地に駐屯する、陸上自衛隊第12音楽隊による演奏会が文化会館で行われました。

1日は抽選で選ばれた市民を対象にしたコンサートが開催され、クラシックの名曲や歌謡曲などの演奏を披露。翌2日に開催された「学生のための演奏会」では、市内の小学生から大学生までの学生とその保護者を対象に、高校野球の応援曲として多くの学校で演奏される「アフリカン・シンフォニー」や吹奏楽コンクールの課題曲など、親しみやすい曲が披露されました。

迫力ある演奏に、両日とも観客からは大きな拍手が送られていました。



演奏にあわせ、隊員が歌声を披露する場面もありました



地区別懇談会を実施しました

市では、まちづくりの基本方針として、基本構想・基本計画・実施計画により構成する「佐野市総合計画」に基づいた市政運営を行っていますが、現在の総合計画の計画期間が今年度で終了を迎えるにあたり第2次総合計画を策定しています。

6月から7月にかけて、平成30年度から12年間のまちづくりの大きな方向性を示す基本構想の案について、地区ごとに懇談会を開催しました。会場では、人口減少対策や地域の特色を活かしたまちづくりなど、佐野市の未来について積極的に意見が出されました。

いただいたご意見は、第2次総合計画を策定する中で参考にしていきます。



ハラール食材でバーベキュー

7月1日、ムスリム（イスラム教徒）がより訪れやすいまちづくりを行うため、「両毛ハラールBBQパーティー」が佐野駅前交流プラザばるぼーとで開催されました。

ハラール食材とは、イスラムの教えで食べることが許されている食材のこと。会場にはムスリムの皆さんが食べられるように処理された牛肉や鶏肉、野菜などが用意されました。

イベントには市内外の在日ムスリムの皆さんや市民ら約200人が参加し、さまざまなハラール食材を使ったバーベキューで交流を深めていました。





安藤勇次《かくれんぼ》
※新作原画展では展示されていません

御神楽町にある安藤勇次「少年の日」美術館は今年で開館15周年を迎え、「新作原画展」を8月27日まで開催しています。

新作は全部で15点。中でも、畳2帖分もある大作は見応えがありました。作品はすべて色鉛筆画です。色鉛筆のやさしい色合いは、日常の親しみある風景とよく合っていて、見ているうちに自然と心が和み、穏やかで幸せな気分になさしてくれます。

訪れた日、偶然にも安藤さんにお会いでき、貴重なお話をたくさん聞くことができました。

「美術館は絵の内容と周りの環境も含めて考えている」と言う言葉どおり、周辺の景色は見事に絵と融合していて、素敵な場所だと思いました。夏の思い出作りに足を運んでみてはいかがでしょうか。

(市民記者 渡辺まさ代)



美術館の外には色鉛筆のオブジェがあります

心が癒される美術館



「いもフライ研究会」 第2期

佐野市民のおやつ定番「いもフライ」を材料づくりから探究するいもフライ研究会。秋山地区の地域おこし協力隊である平石さんを中心に活動をしています。

第2期となる今年は、フライにする際に使用する小麦粉と水を混ぜた「バター液」に着目し、小麦粉づくりに挑戦すべく小麦の栽培を試みました。11月に種を蒔き、12～2月にかけて麦踏みをし、6月18日に多くの参加者とともに麦刈りを行いました。鎌で手刈りし、稲架かけに挑戦！秋山町の地元住民の方に教えていただき、無事に終了しました。

今後、天日に干した麦の脱穀と3月に植えたじゃがいもの収穫を予定しています。活動の様子はフェイスブックページ「佐野市地域おこし協力隊」をご覧ください。



佐野市のがんばるパパを 佐野ケーブルテレビで放映中！

佐野市を愛するパパたちが中心となって佐野市の魅力を発掘し、新しい特産品として市内外に売り出していこうと活動する「佐野パパプロジェクト」。今年の2月に結成された「パパプロe街佐野奉行所」の皆さんの活動が追跡取材されています。

番組では、佐野市の魅力の新たな洗い出しや、新しい特産品の発掘について意見を出し合う様子が放送されています。新しい佐野市の魅力を発信するため活動するパパたちの様子を、ぜひご覧ください。

- ▶ 番組名 「マジパパJAPAN」
- ▶ 放送時間 毎週月～土曜日
午後9時30分～9時55分
※月曜日更新で1週間同じものを放送
- ▶ 放送局 佐野ケーブルテレビ

